

2022年9月20日

当社船1隻が海上保安庁長官から表彰

～ 継続的な海洋情報の提供による貢献を評価 ～

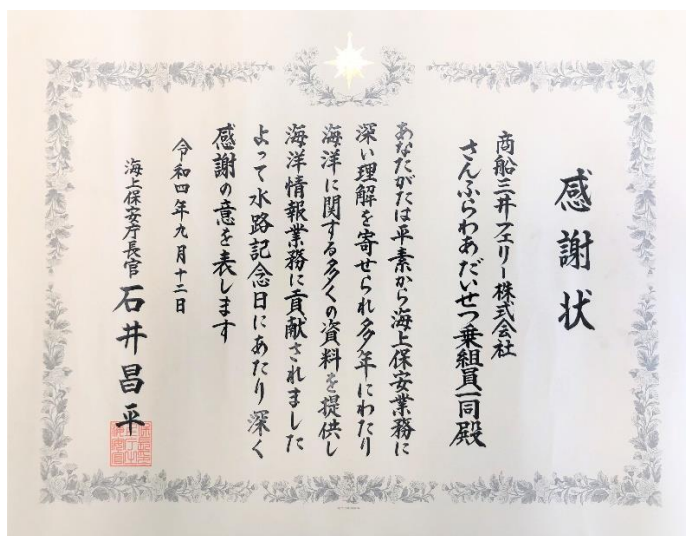
商船三井フェリー株式会社（社長：尾本直俊、本社：東京都千代田区）の船舶1隻について、海上保安庁への継続的な海洋情報の提供が評価され、海上保安庁長官から感謝状が贈呈されました。9月14日、海上保安庁にて表彰式が執り行われ、当社関係者が出席しました。

【海上保安庁長官表彰(註1)対象船名】

- ・さんふらわあ だいせつ

本表彰は、水路記念日(註2)にあたり、海洋情報業務（海の調査や海洋情報の提供）に貢献した個人・団体に対し海上保安庁長官から感謝状が贈呈されるものです。今般、長期に渡って海洋情報（海水温や海流・潮流(註3)の観測データ）を提供したことが評価され、表彰対象となりました。

海洋情報の提供は、海流・潮流などの海洋状況の調査・観測により海洋情報を収集している海上保安庁海洋情報部の業務の手助けとなり、海洋情報部が提供する航海に関する様々な情報は日本を航行する多くの船の安全を支えています。



海上保安庁長官表彰



海上保安庁長官（写真 右）から感謝状を受領する当社船舶部長（写真 左）

当社は今後も海洋情報の提供に継続して取り組み、社会とともに相乗的・持続的に成長する企業として、海上の安全と地球環境の保全に貢献していきます。

(註1) 海上保安庁長官表彰：現在まで6年以上海洋情報の提供を継続し、所定の通報件数を超えた船舶が対象となり、海上保安庁長官より表彰されるもの。

(註2) 水路記念日：9月12日。1871（明治4）年9月12日（旧暦7月28日）、海上保安庁水路局（現海上保安庁海洋情報部）の前身である兵部省海軍部水路局が設置されたことに由来しています。

(註3) 海流・潮流：特定の航海計器を搭載する船舶のみ観測可能。

以上

